

# 映画研究部

## 映画鑑賞レポート

平成 28 年度

10 月分

## 鑑賞レポート 一覧

10320 「聲の形」

10639 「キングスマン」

10738 「聲の形」

10741 「マダガスカル3」

10802 「バイオハザードII アポカリプス」

10831 「超高速！参勤交代」

20418 「母と暮らせば」

20725 「通学電車」

20727 「プラダを着た悪魔」

20836 「千と千尋の神隠し」

## 鑑賞レポート 10320

映画名「聲の形」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

とある小学校に通う西宮硝子は耳が聞こえないため、クラスでいじめられていた。特にクラスメイトの石田将也が硝子をいじめていた。イジメはだんだんエスカレートしていく。結局、将也和硝子はわかり合えず、硝子は転校していった。それから何年か経って、2人は再会する。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

最初この映画を見ようと思ったきっかけは、予告が印象的だったからです。なんとなく、どんな感じの話かは知っていたけど、実際に見ると、とても考えさせられるお話でした。映画の中で、橋の上でそれぞれの思いや、考えをぶつけ合って、せっかく仲良くなっていったのに、うまくいかず、みんながバラバラになっていってしまうシーンがあって、そこは、とても胸が苦しくなりました。「なんでうまくいかないんだろう」と思いました。あと、硝子が自分のマンションのベランダから飛び降りて、それを将也が助けに行き、自分が落ちてしまうシーンがありました。そこでは涙が止まりませんでした。

そして最後には、みんなが仲良くなって、みんな笑顔でとてもよかったです。

今月の鑑賞映画報告

聲の形

評価 5 / 5

とても感動的でした。

ヒロイン失格

評価 5 / 5

おもしろいし、キュンキュンするし、とても良かったです。

映画名「キングスマン」

評価 8/10

ストーリー

どの国にも属さない世界最強のスパイ機関「キングスマン」の活躍と亡き父の後を継いで、キングスマンのスパイとなる道を選んだ青年の成長をユーモアを交えて描いた作品。

鑑賞レポート

シリアスとコメディのバランスが取れている良作スパイ映画。アクションシーンの爽快さや非現実さ等、「M:I」シリーズといった大作では味わえないものを感じる事の出来る新鮮な作品だった。人体の破損や流血表現なども過度なものではないので、耐性の無い人でも安心して鑑賞できるはず。シナリオは、スパイ映画としては単純すぎる程だと感じた。シンプルに、悪の組織を根絶やしにすることを目的とし、それ以外はすべて無視された「王道」といっていいのか少し怪しい物語の展開をしている為、個人によって評価が大幅に変化する映画かも知れない。前述したとおり、シリアスな内容もしっかりと含まれている。主人公の成長や、スパイになるための試験など、見所は大いにあった。物語はテンポ良く進行していき、他のスパイ映画に見られる長ったらしい会話のシーンや、理解しがたい専門知識的な単語などはほとんど登場しないので、単純明快なスパイアクション映画を観たいという人に非常にオススメ出来る。

この映画は「紳士」というのがテーマになっている。「紳士」というワードに関連する台詞が作中に何度も登場するので、そこにも注目してもらいたい。

今月の鑑賞映画報告

キングスマン 評価 5 / 5

スパイ映画

ザ・ロック 評価 5 / 5

アクション大作

フライト・プラン 評価 5 / 5

飛行機が舞台のサスペンス映画

プラトーン 評価 5 / 5

ベトナム戦争を描いた作品

ワールド・オブ・Z 評価 5 / 5

ゾンビ・パニックホラー

## 鑑賞レポート 10738

映画名「聲の形」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

ガキ大将だった小学6年生の石田将也は毎日面白いことを探していた。そんなある日、聴覚障害を抱える少女、西宮硝子が転校してくる。硝子は耳が聞こえないため、筆談用ノートを持ってコミュニケーションをとろうとするが、うまくいかず、やがて将也を中心にエスカレートした嫌がらせはいじめへと発展していく。しかしある事件をきっかけに硝子は転校し、将也はクラスで孤立し、いじめの対象になる。やがて5年の時を経て、別々の場所で高校生へと成長したふたり。ある事件以来、堅く心を閉ざしていた将也は自殺をする前に、硝子の元を訪れる。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はこの映画の予告動画を見て、感動しそうな映画で見てみたいなと思って、映画館に友達と一緒に見に行きました。この映画は私が今までに見た映画の中で一番感動しました。

特に、昔硝子をいじめていた将也が5年後、自殺をする前に硝子に謝りに行き、2人が再会し、徐々に仲良くなって、硝子は将也のことが好きになっていったのに、硝子のおばあちゃんが死んでしまったり、将也が周囲と打ち解けてきていたのに、硝子のせいで仲が悪くなったり、硝子は自分と関わった人間は不幸になると思って、自分の家のマンションから飛び降りようとする場面で、将也が硝子を助けた時に、かわりに落ちてしまうところにすごく感動しました。

私にとってこの映画は、いじめられていた人といじめていた人が再会して仲良くなれたりできるということなど、色々なことを学べたり、考えさせられる映画でした。

今月の鑑賞映画報告

デスノート **Light Up the New World** 評価 4/5

結末が予想とは違っていて面白かったです。

## 鑑賞レポート 10741

映画名「マダガスカル3」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

ライオンのアレックス、シマウマのマーティ、カバのグロリア、キリンのメルマンの4匹が動物園から抜け出し、その後飛行機の燃料切れでサバンナのだ真ん中に墜落した後のストーリー4匹は動物園のあるニューヨークに帰ろうとするため出発するが、なぜか指名手配され、動物管理局にも追いかけられた中、急にサーカス団に入ることになり、無事ニューヨークには着いたものの、動物管理局とサーカス団とはどうなるか。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はモトモトマダガスカルトイウ映画が好きだったので、公開された時からとても気になっていました。そして、テレビでやるって事になり、とても楽しみにしていました。

この映画はとても面白く、一番はシマウマのマーティがサーカス団にいる時になぜか急に歌って、すごくノリノリに踊り出すところです。そのときの曲もちょっとふざけた感じで余計に面白かったです。そして、動物管理局の中に最強女と呼ばれている人と4匹の戦いも迫力があったり、戦い方がとても面白かったりして最高でした。

感動する場面もありました。最終的にはずっと戻りたかった動物園には戻れたものの新しい仲間ができたサーカス団のもとはなれたくないという気持ちが強く、そのときに4匹の気持ちが同じで、頑張ってたまたサーカス団のところに戻った場面でした。

この映画はとても面白く見ていて楽しい気分になるので、是非いろんな人に見てほしいと思います。

今月の鑑賞映画報告

マダガスカル3

評価 5/5

とても面白かったです。

ルパン三世

評価 4/5

迫力があってカッコよかったです！

映画名「バイオハザードⅡ アポカリプス」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

前作でハイブにウイルスが蔓延したことで、アンブレラ社は地下を調査するために、社員を派遣するが、入り口を開けたとたんゾンビに襲われます。その後、Tウイルスは市内に蔓延、ラクーンシティーはゾンビだらけとなり、壊滅状態に陥ります。アンブレラ社は、事故の隠蔽の為、自社の警備部隊をラクーンシティーに向かわせ、街全体を封鎖することにします。そんな中、アンブレラ社のTウイルス研究の1人である博士の娘が行方不明になるという事態が発生。アンブレラ社はラクーンシティー外へウイルスが蔓延することを防ぐため、ゲートを封鎖することを決定します。中にいる住民に、しないに戻るよう強要します。そしてアリス、ジル、カルロス達はこのラクーンシティーから脱出する方法を探します。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

今作はもうすぐ上映される「バイオハザード ザ・ファイナル」に向けて地上波で放送されていました。私が思うに、やはりバイオハザードの面白い所はクリーチャーのクオリティやハリウッドであるためか、戦闘シーンの迫力であり、また身に感じる爆発音や銃声が響くのがまた良いです。「バイオハザード アポカリプス」ではこういった部分が多いので、個人的に一番好きです。アリスの身体能力の高さによるガラス割りながらの登場やほぼ90度の壁を降りていくシーンが本当に好きです。ⅢやⅣの初めの方では、超能力になりすぎていたのは行きすぎかなと思いました。そういったところも「バイオハザード ザ・ファイナル」にはとても期待しています。「バイオハザード アポカリプス」では他にもいいなと思うところがあります。それはゲームの再現力です。「バイオハザード アポカリプス」では他の作品と違って、ラクーンシティーが舞台であったり、ジルやカルロスが登場しました。特にジルの格好とか話し方もかなりバイオハザード3のゲームに似ていて、よかったなあとと思いました。また、犬のクリーチャーであるゲルベロスが登場したところも良かったり、ネメシスの再現では迫力や動き方もよく出来ているなと感動しました。そしてバイオハザードの映画には毎回共通したいところもあります。それはその作品の黒幕を倒し、次作につなげる部分です。そう、どれも次への期待を上げる終わり方が多いです。アリスの目から宇宙の人工衛星に見られているシーンだったり、Ⅲでは大量のアリスのクローンといった所もこの作品の良い所なんだと思います。

今月の鑑賞映画報告

バイオハザードⅡ アポカリプス

評価 5/5

バイオハザード ザ・ファイナルも見に行きたいな！！

デスノート逆襲の天才

評価 4/5

こちら最新作の「デスノート **Light Up the New World**」に期待！

## 鑑賞レポート 10831

映画名「超高速！参勤交代」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

貧乏な国の大名・佐々木蔵之介がやっと参勤交代を終えて、帰ってきた所にあらぬ疑いを今回の適である江戸の老中に向けられ、8日はかかる道を5日で来いといわれてしまい、国のために大名や家臣たちや道中に会った忍者と協力し、参勤交代を成功させ、殿は宿屋の娘、深田恭子を側室に迎え入れる。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

佐々木蔵之介が演じる大名様は田や困っている人のことを一番に思っていて、自国は貧乏なのにもかかわらず、年貢も少ししかとらず、飢饉で困っている他国には米をあげるという甘さのおかげもあって、映画の途中で助けられます。人に優しくすることで、自分にもやはり良いことが返ってくるのが分かりました。それから大名様の家臣の役として出演している人も **Hey! Say! Jump!**の知念くんや、上地雄輔さんなどがてていて、家臣の人たちもキャラが濃くてとても面白かったのもポイントの1つでした。

最後になると敵の老中からの刺客で忍者がたくさん送り込まれて戦うシーンが多くなりますが、大名様は居合い斬りがとても強くてとてもカッコよくて、普段はおもしろい家臣の人たちもとてもカッコよく戦っていてそこもまた見所でした。

続編として「超高速！参勤交代リターンズ」もあるので、機会があればみたいなと思っています。

今月の鑑賞映画報告

「超高速！参勤交代」

評価 5 / 5

面白さもあつたし、感動もしました。



## 鑑賞レポート 20418

映画名「母と暮らせば」

評価 8/10

ストーリー

1948年8月9日、長崎県で助産師をして暮らしている伸子（吉永小百合）の前に、3年前、原爆でなくしたはずの息子の浩二（二宮和也）が現れる所からこの話は始まる。その日から伸子の前にたびたび姿を現す浩二だが、死ぬ前に、浩二と将来を約束した恋人の町子のことが気になりだった。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私は普段、戦争ものの映画は観ないのですが、友人がものすごくこの映画を絶賛していたので、観てみると、すごく私には内容が重かったけど、なにか心に残るものがあった劇中に、長崎に原爆が落ちるシーンがあった。私は戦争には全く詳しくはないし、ある程度の知識しか無いけれど、この映画の原爆の投下シーンを観てすごく戦争は悲惨だったんだなと改めて思った。それに加え、戦争中の厳しい生活や、大切な人を失った時の気持ちなど、当時の人々の苦しみや、悲しさがひしひしと伝わって来るものだった。このような戦争を題材にした映画は今後も作り続けて、私たちを含め、戦争を知らない人たちももっと後世に残していくべきだと思った。この映画を観て、もっと戦争のことをくわしく知りたいと思ったので、これからもっと勉強していきたい。そして、自分が結婚して子供ができた時に、戦争はこんなことがあったんだよと伝えられたらいいなと思う。

映画名「通学電車」

評価 8/10

ストーリー（ネタバレあり）

松井愛莉演じるユウナは、千葉雄大演じるハルに片思い中である。ユウナは通学中の電車でハルに会えるだけでも幸せという奥手な女子高生。ある日、部屋でユウナは目を覚ますと、隣にハルが寝ている。夢だと思うが、現実である。目を覚ましたハルも驚いている。もっと驚くことが起きる。ハルはなぜかユウナの部屋から出られない。それに加えて、ユウナの母親はハルの姿も見えていないようだ。翌日、車内で痴漢にあったユウナを助けてくれた人を見ると、ハルだった。なぜユウナの部屋から出られないはずのハルがここに!?しかし、その人に話しかけると、ハルではないという。家に帰ったユウナは家にいるハルにそのことを話し、そこではハルとは別人のハルがいたのでは・・・?という結論になる。果たして、本物のハルはどこにいるのだろうか。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画は現実的にありそうな高校生生活の中に、突然ファンタジーなことが起きて、それが現実といい具合に融合していて、その不思議さが、好奇心を持たせてくれて面白かったです。いままであまりドッペルゲンガーの現象を知らなかったけど、少し分かったかなと思います。

家にいるハルと、高校に通っているハルの、見た目は同じなのに、中身やふるまいが全く違う部分に変な感じがして、たまらなくて、映画に釘付けになりました。

私が一番印象的なのは、ユウナがハルに、「サッカーやりたいでしょ!だったらやりなさいよ!」と土砂降りの中、サッカー部の試合を見つめていたハルに詰め寄り、怒ったハルがボールを蹴ろうとするが、そこで倒れてしまい、病院に運ばれたことがきっかけで、ユウナがハルがサッカーを辞めた理由を知る場面です。理由を知ったことによって、自宅に現れたハルは、現実逃避のハルで、本当のハルの心の部分であり、その心のハルが大きくなればなるほど、残された肉体だけのハルが弱くなるという仕組みが分かって、すっきりしました。

映画名「プラダを着た悪魔」

評価 10/10

ストーリー

主人公のアンドレアが出版社に応募したが、アンドレアが面接へと通されたのは、一流ファッション誌「**RUNWAY**」の編集長ミランダだった。ミランダはアンドレアのことを他のアシスタントとは違うかも知れないと感じ採用した。アンドレアの仕事は、ミランダの雑用だった。厳しすぎる仕事の内容に対しアンドレアは、ミランダの右腕のナイジェルに愚痴をこぼした。ナイジェルはアンドレアは服装から変わるように提案した。そしてアンドレアは今まで以上に美しくなり、完璧に仕事をこなせるようになっていった。

ミランダはアンドレアを認め、パリコレの同行者に選んだ。しかしパリコレは第一アシスタントのエミリーの夢だった。だがアンドレアはミランダに逆らうことが出来ず、仕方なくパリコレに同行した。パリコレでは新しい事業のパートナーとしてナイジェルが発表される予定だった。しかしミランダはナイジェルを推薦しなかった。ナイジェルの気持ちを踏みにじったミランダを軽蔑したアンドレアはミランダの元を去った。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

主人公のアンドレアは最初ファッションに全く興味がなく、服装もセンスがなかったが、アドバイスを受けて、次第に美しくなっていく姿が見ていて一番印象に残りました。

アンドレアが上司であるミランダのめちゃくちゃな要求に必死にこたえようとする姿を応援したくなりました。ミランダはナイジェルやエミリーに対してひどい事をしたけれど、最後にはアンドレアの事を思って、他の会社にはアンドレアのことを推薦する姿を見て、根は優しい人だと感じ、人の温かみをととても感じられる映画だと思いました。ミランダの元で仕事をしていると、どんな大企業でも入ることが出来るといわれていたのに、アンドレアはどうしてミランダの元を去ったのか不思議だったけれど、最後に良い企業に入ることができて良かったです。この映画は仕事の厳しさをすごく感じる事ができる作品だったと思います。そして、この映画は私が5回以上見たことがあるお気に入りの映画です。

## 鑑賞レポート 20836

映画名「千と千尋の神隠し」

評価 10/10

ストーリー

2001年日本映画。宮崎駿監督のスタジオジブリ作品。一人っ子の千尋は甘えん坊で臆病者。そして少しドジな少女だった。両親の都合で引っ越しすることになり、そこでとても奇妙な経験をするこ  
とで、少しずつ成長していく1人の女の子の物語。

鑑賞レポート

私はジブリの中で一番好きなのが「千と千尋の神隠し」です。なぜかという、この物語は現実ではあり得ないような場所がたくさん出ていて、そういう所では、私は夢を与えてくれるような感じがしていいなと思ったからです。

そして、主人公の千尋は、最初にか弱くて、とてもしっかりしているようには見えない印象でした。けれど、そんな千尋がおかしな世界に引き込まれ、そこで学んだ自分の無力感に気づいたり、出来ないときめつけずに、まずやってみるなど明らかに千尋が成長しているのが分かって、面白いなと感じました。成長していった千尋はみんなに好かれる存在になり、人を救うことのできる人になりました。私はこれを見て、人に自然にできる優しさと自分というものを失わない強さを持っているんだなと思いました。私もこんな人になりたいと思わせてくれる作品だと思いました。

また私がこの作品から学んだことは、どんなに小さな可能性でも自分を信じること、あきらめないこと、ということです。この映画は色々なことを教えてくれる作品だなと感じました。